

公共事業再評価調書(3回目再評価)

主管課： 都市計画・モノレール課

1 事業概要	事業名： バンナ公園整備事業		前再評価年度：平成15年度	
	事業種別： 都市公園事業	事業主体： 沖縄県	(S53~H19)	
	事業箇所： 石垣市	根拠法令： 都市計画法	事業期間： S53~H25	
	総事業費(百万円)： 19,568	費用内訳： 補助1/2	事業量： 292.1ha	
(整備目的)	ゆとりとるおい、広域レクリエーション需要の高まり等、県民の多様化するニーズに対応するために、自然保護を図りながら、緑とふれあい交流を広げる場、津波襲来時の避難地等、多くの県民に広域的に利用出来る公園として整備する。			
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ① 事業着手から10年を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業着手から5年以内の工事未着手 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止			
3 再評価に 至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得等の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画の長期 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他(計画変更)			
4 事業の 進捗状況 (H20.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備率(ha)	用地取得(ha)
	計画	19,568	292.1	292.1
	実施済	17,988	290.0	292.1
	率	92%	99%	100%
4-2 前再評価以降 の主な進捗	・エメラルドの海を見る展望台、トイレ及び駐車場整備の完成。バンナスカイラインの拡幅工事の一部完成。 ・バンナ森といこいの広場の休憩所等完成。			
5 事業効果の 評価指標  (基準年H20) (検討年50年) (単位:百万円)	①直接便益(旅行費用価値)	41,000	① 用地費	238
	②間接便益(環境の維持・改善)	16,900	② 施設整備費	19,330
			③ 維持管理費	2,454
	総費用	57,900	総費用	22,022
	基準年換算(B)	46,597	基準年換算(C)	33,811
	費用便益比 (B/C) = 46597 / 33811 = 1.4			
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： 石垣市への入域観光客数は平成15年の約69万6千人から平成20年約77万8千人と約12%の伸びを示しており、平成20年3月からは千葉ロッテマリーンズの春季キャンプも始まるなど、今後、更なる観光客の増加が見込まれる。 ② 地元・自治体 平成16年3月の石垣島地方防災連絡会において、八重山地方における日頃の津波防災知識の普及と地震発生時の津波防災対応に資する目的で「津波防災マニュアル」が作成された。マニュアルでバンナ公園も避難場所として指定されたことから、緊急避難路に位置する橋梁の耐震化が地元より望まれている。 ③ 利害関係者： 問題なし			
7 事業の必要性 や効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： バンナ公園は災害時の避難地として指定されているが、現橋梁は現行の耐震設計で求められている耐震性能を確保できていない状況である。よって、次年度より新たに創設される「安全・安心対策緊急総合支援事業」を活用し、緊急に橋梁の耐震化を行なう必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性) 当該公園の整備率は92%となっており、今後、老朽化した施設の改築・更新及び防災機能向上が主な整備内容となる。よって、平成25年度の整備完了を目指し、現計画の推進を図ることが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 島民の憩いの場や遠足地としての公園利用に加え、バンナスカイラインを拡幅し展望台へのアクセスの安全性向上及びトイレ設置による利便性向上を図ったことで、年間を通じて多くの観光客で賑わいを見せている。展望台からは八重山諸島を望む景色が楽しめ、石垣島の新たな観光スポットとして定着しつつある。			
8 今後の対応 方針・見直し	① 事業計画等： 橋梁の耐震化と、老朽化した遊具等の再整備を実施し、平成25年度の事業完了を目指す。 ② 対住民関係： 問題なし ③ 執行体制等： 現体制で執行可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前回再評価で の主な意見等)	・森林公園であるということから、スカイラインのコースの問題であるが、森林の伐採を少なくする等の配慮が必要である。 ・少子高齢化も進んでおり、危険性のないアクセスの方法は必要だと思う。自然があり、子供から大人まで楽しみ、観光資源になる安全な整備をお願いしたい。 ・バンナ公園のスカイラインルートの整備については、別途委員会の設置を行い、自然環境への配慮等、専門家の意見を聞いて、計画を立てて欲しい。			